

福祉情報誌

暮らしに役立つ、ちょっとわくわくすることがある、そんな情報を贈ります。

平成28年2月23日(毎週火曜日)増刊 AJU通巻12119号

昭和54年8月1日低料第三種郵便物認可
発行所/東海身体障害者団体定期刊行物発行協会
名古屋市中区丸の内3-6-43 みこころセンター4F

AJU自立の家

編集/社会福祉法人AJU自立の家
福祉情報誌発行委員会
発行/AJU車いすセンター
わだちコンピュータハウス
連絡先/〒466-0025
名古屋市昭和区下槇町1-3-3
わだちコンピュータハウス内
TEL(052)841-9888
FAX(052)841-3788
E-mail: f-joho@aju-cl.com

第140号

2016年2月20日号

定価**250円**

テーマ

活

書 高橋 誠



絵 川口いづみ

はじめの一步をふみだしたあなたへ

- インクルーシブ教育
学校はみんな一緒がいいじゃん 1
- 特集 障害者差別解消法
いよいよはじまる 障害者差別解消法
愛知県障害者差別解消推進条例 4
- ひろがれ福祉
区役所と闘った 365 日 7
- ひと・活動紹介
フオピアが来たりて笛を吹く 11
街へ出かけよう 15
- かつきのページ 17
- 旅の空から 18
- トラベル情報 21
グランドサークルとラスベガス7日間
京都のお花見&ご参拝
他
- 福祉用具のリサイクル情報 23
- 読者のこえ・いろいろ情報 24
ひかり鍼灸院 東洋医学体験談
春のパレード、シンポジウムなど
購読に関する手続きについて
他

学校はみんな一緒にいじゃん

こんにちは、久しぶりの池山です。私の息子は現在中学1年生、発達障害（自閉症スペクトラム）でコミュニケーションや細かい作業などが苦手です。小学校3年から支援学級に籍を置き、通級という形をとっていましたが、中学からは通常学級に籍を戻しました。今回は支援学級から通常学級に戻すまでのいきさつ、現在の息子の様子を書かせてもらうことにしました。



池山ひろみ 二分脊椎、透析歴 27 年

独身の頃は情報誌でレジャーやグルメを取材して書いていました。結婚してからは単発で記事を書かせてもらっています。

息子から学んだこと

小3から支援学級に籍を置くことにしたのは、学力面についていくのがしんどくなるのではないかと、私のおせっかいな思いからでした。最初息子は「なんで支援学級に行くの?」ってところがありました。旦那も「このまま通常級でいいじゃない?」と言っていたのですが、しんどくなる前に「息子のペースでやっていけばいいじゃん」と旦那を口説き落とし、息子は小2の2学期から支援学級に遊びに行くという形で少しずつならしていききました。

3年から算数と国語を支援学級で学び、その他は通常級で学びました。4年生までは何の問題もなく、支援学級の担任からも「通常級はおとなしいですが、支援学級ではうるさいくらいよくしゃべります。うるさいということは自分を出せていると思いますよ」と好意的に言ってくださっていたので安心していました。

5年になり支援学級の担任が変わりました。学校



へ行くたび、私の顔を見ると担任は「算数の時間落ち着きがなかったですよ」と困った顔で話されました。私にどうしてほしいのか?むしろ支援学級は自分を

出せている場所だから、その行動の何が悪いのだろうと不思議でなりませんでした。

そして家庭訪問の時、支援級の担任から衝撃的な報告がありました。なんと息子が支援級では物やイスをなげて暴れるようになったと知らされ、「今後、医療で相談された方がいいかもしれません」と言われてしまいました。家ではとてもやさしくおだやかな息子なので信じられませんでした。

でもきっと何か理由があってそんな行動に出ているのだろう、息子の本音を探らなければ解決しないなと思いました。その日の夜、布団に入ってから息子に「今日先生から学校で暴れているって聞いたんだけど、きっと何か嫌なことがあるんだよね?教えて」と言うと、しばらくして息子は「先生がえこひいきするの」と答えました。そこでなんとなく謎が解けました。昨年の担任は騒がしくても大目に見てくれたのに、今年の担任は落ち着いて授業を受けてほしいという思いがあり、息子は色々指導されたことで対応の違いに混乱しているのではないか、だから暴れてしまっているのではということが読み取れました。

次の日、担任に「先生の思いと息子の思いがうまくかみ合っていないことが原因です」「昨年の担任がやっていた対応をしてもらいたい」と伝えました。その後は徐々に落ち着いていったようです。

今思うと息子自身が支援級は騒いでもいい場所、通常級はおとなしくしている場所と自分の中で分

けていた気がします。このことがあって対応のしかたで息子を良くも悪くもしてしまうのだということ学びました。

息子の気持ちによりそいながら

最初私は、息子を支援級に入れて支援をしてもらい守ってもらうという考えでした。しかし、分けて学ぶというスタイルに疑問を持つようになりました。別の教室で学ぶことは、どんな支援をうけているかなんて通常級の子どもたちは知らずに過ぎてしまっていく、これではいつまでたっても障害について理解はされないだろう。息子も世間のルールを学ぶ必要がある。お互いを知るにはやはりみんなと同じ教室で支援してもらいながら、学ばなければ意味がないと思い始めました。

そんなとき新聞に「インクルーシブ教育をめざしている“名古屋「障害児・者」生活と教育を考える会”が例会と相談を開きます。」といった記事を見つけました。さっそく息子を連れて相談に行きました。

不安に思っていたことは2点。

1つ目は勉強についていくのが大変なのでは？ それに対し、「学力の事は気にせず、その子なりのできた、分ったがあれば十分なのではないか」。2つ目はいじめられるの

ではないか？「いじめられたらと心配もするけど、問題が起きたとき考えて動けばいいし、いろんな経験をさせた方が絶対いい、みんな一緒になることでたすけられたり、もまれたりして息子さんは育っていくはずだから。とにかく親としては、息子さんのありのままの気持ちに寄り添って育てていけば大丈夫だから」と、励まされました。一番心強かった言葉は、学校とうまく交渉できなかった時は私たちも現場に行き一緒に交渉してあげるからと言われたことです。そんな言葉を聞いて6年から通常級に戻すことにしました。

最初は息子も納得していると思いましたが、ところが息子が嫌だと言いだしたのです。その理由は

支援級の教室に全く入れなくなるのが不安だったようです。家族3人で話し合い、私たちが「遊びに行くことはできるよ」と説明しても息子は「行きにくくなるからいやだ」と言って納得しませんでした。そこで話し合いの結果、6年は支援級に籍は置いて通常級で学ぶ比率を多くし、中学になったら学校自体変わるので、これをきっかけに通常級へ戻すことにしました。

中学生になりがんばってます

中学は4つの小学校から入学してきます。5月ごろ、息子の特性を知らなかったクラスメイトにいじめられていました。理由は息子が呼ばれたとき、パニックになって逃げてしまったり、黙ってしまうので、「こいつ無視かよ」という誤解でした。

実は最初、きっと彼はいじめているという非を認めないだろうと思っていました。しかし、きちんと非を認めてくれたので、その勇気を褒めたかったし、息子の特性と接し方を知ってもらえばサポーターになってもらえるのでは？という思いから手紙を書くことにしました。

まず担任に中身を確認してもらって大丈夫であれば、彼に渡してもらうようお願いしました。その後、担任が中身を読んで道徳の時間にクラスみんなの前で話したいと提案されました。息子はみんなの前で自分のことを取り上げられるのを嫌がったので、こっそりと他校から来た子達数人を集めて息子の特性と接し方について話してもらうことにしました。その後いじめはなくなったようで、クラスメイトに苦手な数学問題を教えてもらったり、細かな作業を手伝ってもらったり色々サポートしてもらっているようです。

しかし、いじめ問題は誰にでもおきうること、今後も注意深く見守る必要があるかなと思いましたが、いじめ問題以外はトラブルもなく、勉強も毎日提出しなければならぬ課題を頑張っています。息子は「自分から友達に



なると言ったんだ」と少し積極的になりつつあります。部活も運動部に入り、休まず参加しています。

私たちが何も言わないと学校は何もしてくれませんので、「具体的にしてもらいたい支援があるときは要望書を書いた方がいい」と会からアドバイスをいただきました。

息子は話を聞いている時と聞いてない時のむらがあります。教科で提出していない、完成していない、のは聞いていなかった本人が悪いと片づけるのではなく、教科、教科の課題や提出書類を必ず本人と確認して、さらに連絡帳に書くという支援をしてもらうことにしました。そして息子も参加できるよう工夫しながら学校生活を送れるように先生たちと話し合っています。

まとめ

これが支援級から通常級へもどしたいきさつです。息子は大人になれば地域で生活していかなければなりません。いろんな人とかかわっていかなければならなくなるので、地域に育ててもらいたいという思いからこの道を選びました。発達障害だからといって子育ての基本は何も変わらないし、子育ての正解不正解はないと思っています。さて中学生は後2年あります。とにかく息子が元気で楽しく学校に行けるよう、先生たちと親で話し合っていくつもりです。

❖連絡先❖

名古屋「障害児・者」生活と教育を考える会
代表 川本道代

名古屋市中区千代田 4-11-17-203

TEL&FAX 052-321-7094

(19時過ぎに連絡ください。)





障害者差別解消法

愛知県障害者差別解消推進条例

みなさん、ご存じですか？ いよいよ4月より「障害者差別解消法」と「愛知県障害者差別解消推進条例」が全面施行されます。この法律と条例は、今後、わたしたち障害者の地域生活を大きく前進させる力を秘めているものです。最大限効力が発揮できるように、しっかり法制度を理解し、活用していくことが求められています。

とはいえ、あまりピンと来ていない人が多いのも現実。愛知県条例づくりに深く関わってきた辻直哉さんに、分かりやすく説明してもらいましたので紹介します。

つしなおや
辻直哉

福岡県出身。愛知県美浜町在住。44歳。頸髄損傷で簡易電動車いすを使用。現在、愛知障害フォーラム（ADF）事務局長、愛知県重度障害者団体連絡協議会副会長、DPI日本会議常任委員兼事務局次長。2009年度よりADF事務局長に就任、毎月の事務局会議開催等の日常業務や、愛知県福祉施策充実を求める愛知県との懇談会開催と要望書のまとめ、県障害者差別禁止条例制定への取り組みとしての愛知県議員団に対するロビーイング活動、シンポジウムの開催等、精力的に活動の中心を担っている。



Q. いつ、この法律と条例はできたのですか？

2006年第61回国連総会で、障害者権利条約が全会一致で採択されました。翌年、日本はこの条約を守る方向で準備していきますという意思表示（署名）をしました。当初、政府はなにも法律は変えず、条約を守る準備ができましたという意味表示（批准）をしようとした。しかし、これでは、なにも、障害者の生活は変わりません。

そこで、私たち障害者団体は、条約を作るとき、もっとも大事にされた「私たち抜きに私たちのことを決めるな！」を合い言葉に政府に働きかけ、障がい者制度改革推進会議を作らせ、2011年に障害者基本法改正、2012年に障害者総合支援法の成立、2013年には障害者差別解消法を成立させました。

また、愛知県においても、愛知障害フォーラムを中心に、7年をかけて、2015年に、全国の自治体で、17番目となる条例ができました。

Q. なぜ、このような法律や条例が必要なのですか？

みなさん、生活の中で困ったことや嫌な思いをしたことって、ありませんか？たとえば、「お店に入ろうとしたら、入店を断られた」、「電車やバスでの乗車拒否」などなど。

そんなとき、どうしましたか？ 多くの人が、がまんしているのではないのでしょうか。これまで、日本の法律では、障害者基本法に「差別してはならない」と書かれているのですが、なにが差別にあたるのか、どういう解決方法があるのかといった、具体的な法整備がなされず、長期間にわたり、棚ざらしにされてきました。

そこで差別解消法では、この基本法の規定を、しっかり実現させるものとして、行政や事業者の責任が明記されています。しかし、この法律では、相談窓口や解決手段が、今までのものを活用することにとどまっています。そのため、この弱い部分をカバーするため、愛知県独自の相談窓口や解決手段が条例で明記されています。

Q. 差別とは、具体的にどのようなものですか？

ここでいう差別とは、障害がない人が利用できるのに、障害がある人は、利用できない、もしくは制限や条件をつけられたりすることをいいます。

障害を理由にして、会社に雇わない、学校に入学させないなど、障害のない人と違った不利な扱いをすることは、もちろん差別です。

また、例えば入社試験や入学試験を行うとき、障害を理由にはしませんが、「会話による面接ができること」、「墨字（点字ではない、手書きや活字などの文字）の問題用紙が読めること」などの条件をつくり、結果として障害者が不利になることも、差別としています。

さらに、「合理的配慮を行わないこと」も、差別であるとしています。

例えば、障害者がほかの人と同じように働くためには、何が必要でしょうか。

- 職場の入り口の段差をなくす
- 仕事の資料を点字にする
- 会議に手話通訳や要約筆記（文字による通訳）を置く
- 仕事の手順を分かりやすく説明する

などです。

このように障害者一人ひとりの必要を考えて、その状況に応じた変更や調整などを、お金や労力などの負担がかかりすぎない範囲で行うことが、合理的配慮です。

ただし、この合理的配慮について、民間事業者は、努力義務（法律違反にはならないが、できるだけ実行する）として行うこととされています。

Q. 差別をされた（嫌な思いをした）ときはどこに相談したらよいですか？

たとえば、電車やバスのことは、中部運輸局など、今までどおりの窓口でも受け付けてくれますが、「担当が違うから」という理由で断られることがありました。そこで、愛知県の条例では、県内の市町村や愛知県福祉相談センター7ヶ所、精神

保健福祉センター、障害福祉課が受け付けてくれます。

詳しくは、愛知県のホームページ

愛知県障害者差別

検索

また、以上の相談窓口で解決できない場合、調整委員会による、あっせん、調整等の仕組みがあります。

さいごに

4月から、障害者の地域生活がいきなり進むわけではありません。しかし、着実に進めることができるようになります。そのためには、なにが地域生活のバリアになっているかを明らかにする必要があります。そこで、いつ、どこで、だれに、どのようなことをされて（言われて）、嫌な思いをしたか、かならずメモをしておいてください。また同時に、「すごくよかった、うれしかった」こともメモしておいて下さい。

いわゆる、悪い事例と良い事例です。この事例は、この法律や条例の3年後の見直しや、事例の蓄積等、幅広く活かされます。このことにより、同じ嫌な思いをしている障害者を少しでも減らし、たとえどんなに重い障害があっても、地域生活ができる愛知県にしていきたいと思います。障害がある人もない人も、すべての人にとって住みやすい社会を実現させるためにも。



2015/12/18 愛知県議会で条例成立後の記者会見

これって差別じゃない？

編集委員で出し合ってみました。

S 小さい頃から「なんでお前は歩けないんだ!? そんな腐った足、切ってしまえ」などと父親からいわれて育ち、その都度「へへへ」と笑ってごまかしてきた。AJUに関わるようになって、職員から「これって差別じゃない？大丈夫？」と心配されて、初めて差別に気づいた。ショックだった。



C 弱視の人がバスに乗ったとき、乗客から「邪魔だっ」と言われて突き落とされたっていう話を聞いたよ。



K 近くのカフェは改装によって使いにくくなった。大きなソファがドカンと対向して置かれたので、車いすの人と向かい合って使えないよ。



T 最近はやりの立ち食いステーキとか、立ち食いフレンチっていうのは、車いすの人が使えなくて排除しているよね。



D 近くのスーパーは、以前は障害者がレジでもたもたしていると、レジ担当の店員に舌打ちされて不愉快だったけれど、最近はわざわざ応援を呼んでエコバッグに入れ替えるのを手伝ってくれるようになった。不愉快な思いを店側に申し入れたのがよかったのかな。



W 近くのコンビニも、2階に買い食いスペースがあるのに、階段しかないので使えない。



みなさまのまわりの

これって差別？

うれしかったな〜♪

をお待ちしていま〜す。

Mail : f-joho@aju-cil.com



区役所と闘った 365 日



皆さん、こんにちは。障害者就労支援事業所わだちコンピュータハウスの「みっくん」こと広瀬光博です。僕は、デュシェンヌ型筋ジストロフィーという進行性の障害を持っています。電動車いすを使用し、ヘルパーの介助を受けながら生活しています。今回、初めて福祉情報誌の記事を書きます。

さて、僕は 2015 年 12 月 26 日に福祉ホームサマリアハウスを卒業し、地域のマンションで自立生活を始めました。地域生活が実現するまでは、さまざまな困難がありました。一番は、区役所福祉課とのヘルパー支給時間数の交渉です。僕が希望した時間数をなかなか認めてもらえず交渉は難航。でも、粘り強く交渉を続け、最後の最後に認めてもらうことができました。区役所との長い交渉についてお話します。

地域生活に向けての準備

2013 年 11 月、部屋探しからスタートしました。10 軒ほど不動産屋を回り、約 10 ヶ月かけて部屋を探しました。2014 年 9 月にサマリアの近くでやっと新居が見つかりました。

その後、住宅改造工事が必要なため、「やさしい住まいの支援ネット」に相談し、住宅改造のことについて教えてもらったり、工事箇所と内容を話し合い、図面作成等をやりました。その他、区役所で住宅改造補助金の申請等、工事に向けて準備をしました。

工事の準備が整い、2015 年 2 月、新居の改造工事が行われました。2 週間ぐらいで工事が終わり、あとは引っ越しの準備をして引っ越しだけとなりました。新居が決まってから、工事が完了するまで約 5 ヶ月かかりました。

ヘルパー支給時間数の申請

2015 年 1 月、ヘルパー利用の支給時間数を増やすため、区役所にセルフプラン（ヘルパーが必要な時間と理由をまとめた書類）を提出しました。

サマリア入居中は、居住地特例がある関係で H 市役所から時間数の支給を受けていました。引っ越し後は、名古屋市民になるため、名古屋市のサービスを利用するという関係もあり、区役所にて申

請をしました。

改造工事が終わって 2 月末、区役所の担当から支給時間数についての電話が掛ってきました。しかしスムーズに話が進むかと思いきや、僕が希望した時間数より全く少ない時間数を提示されました。これではまずいと思い、サマリアスタッフに相談したところ、「もう一度区役所に行って、この時間数では足りない理由を言ったら？」と言われました。再度区役所に行って、時間数の必要性について説明し、以前提示された時間数が足りない理由について話しました。福祉課の担当から「一度、検討します。」と言われたので、検討結果を待ちました。しかし、「広瀬様が希望した時間数では、支給決定できません。」と言われてしまいました。ここから、区役所との長い交渉が始まりました。交渉は予想外に難航し、あと少しで引っ越しというところで、大きな問題に直面しました。

区役所福祉課との闘い

ちなみに、僕が必要としている時間数は、平日は 17 時間、土日は 24 時間、つまり仕事以外の時間はすべて必要ということになります。

ところが区役所からは、平日の朝と夕方、土日の朝から夜までの時間は認めてもらえたものの、夜寝てから翌朝起きるまでの時間は認めてもらえ

ませんでした。夜間については、スポット的に2時間おきにヘルパーがきて、1時間以内に体位変換とトイレ介助等必要な介助をやってもらう、これが3回あるというもので、合わせて3時間しか出してもらえませんでした。時間数を増やしてもらうにあたって、名古屋市が基準としている時間数があり、基準を超える場合は、審査会にかけられます。僕が希望する時間数は基準を超えてしまうので、審査会にかけerる必要がありました。しかし、区役所は基準内で支給決定しようと考えていたため、審査会にかけてもらえませんでした。

僕は、「夜間は体位変換、トイレなどの介助が必要のためヘルパーが張り付きで入ってもらえないと困ります。提示されたプランでは当然ヘルパーがいない時間帯が出てきます。ヘルパーがいない時間にトイレなどしたくなったら困ります。」と、足りない理由について話しました。しかし、なかなか認めてもらえない状況だったので、サマリアスタッフに相談しました。アドバイスとして、「主治医の先生にお願いして、医師の意見書を書いてもらったら？」と言われ、主治医に記入してもらい、区役所に提出しました。

僕とサマリアスタッフで区役所へ時間数の必要性について話をしに行きました。

2015年4月半ば、サマリアスタッフ、障害者ヘルパーステーションマイライフのスタッフと話し合う時間がありました。そこでサマリアスタッフから2つの資料をもらいました。1つは「重度訪問介護の適切な支給決定について」の資料、もう1つは、「石田訴訟（昔和歌山県であった、石田さんという障害当事者が、希望の時間数獲得をかけ、裁判を起こした）」についての資料です。あと、「区役所の担当と話をする際に、録音させてもらったらどうかな？そうした方が記録にも残るし、あとで聞いて次の作戦を立てれるからいいのではないかな？」というアドバイスをもらいました。その後、もらった資料を読み込んで、どのように話を持っていくか考えました。区役所に行き、録音させてもらい、「重度訪問介護の適切な支給決定に

ついて」と「石田訴訟」の資料を元に時間数の必要性について話しました。それからは、交渉に行くたびに録音させてもらい、話をしました。その後、区役所から電話があり、「今の段階では、希望された時間数の支給ができません。夜間の必要性について、ヘルパーがいない時間で必要な介助を受けられなければ支障が出るということの根拠を添えて教えてください。」と、さらに根拠を求められてしまいました。



当初は4月に引っ越しする予定でしたが、時間数の交渉が難航しているため、サマリアスタッフと話し合い、入居期間を延長してもらうことにしました。

市役所本庁にも足を運ぶ

サマリアスタッフから「こういう状態が続いているので、一緒に名古屋市役所本庁の障害者支援課に話をしに行こう。」との話があり、2015年5月に本庁の障害者支援課と話し合いました。提出したセルフプランの内容、夜間の必要性などを話し、僕の意見について区役所に伝えてもらうことになりました。

後日、区役所で話を聞きましたが、変化がなかったので、僕は今の生活で支障が出ているところについて話しました。当時、時間数が足りない関係で、夜間張り付きではヘルパーを使わず、巡回ヘルパーで対応していました。夜間巡回は深夜2時から30分のみでした。「ヘルパーがいない時間にトイレに行きたくなって、緊急で時間外で夜間巡回ヘルパーを呼んだことが何回もありました。ただ、夜間巡回ヘルパーは他の巡回があります。呼んでもすぐには来れない時もあり、来るまで待つという現状があったので困っています。」ということを区役所の担当に伝えたところ、「それは、H市役所の支給決定の中（サマリア入居中）で起きていることですよ。でしたら、H市役所に言うべきだと思います。H市役所で現状を認めてもらわないと、なぜH市役所では認められていないの

に区役所で認められるのか、という協議が出てくる。」と言われました。

それを受け、サマリアスタッフに相談し、区役所に提出したセルフプランをH市役所で認めてもらい、「区役所でも認めて下さい」というふうに話をもっていくという作戦を立てました。

6月末、H市役所の担当に電話で相談しました。「今、区役所で時間数の交渉をしていますが、僕が希望する時間数で、夜間(寝てから起きるまで)の時間帯がなかなか認めてもらえません。夜間は、夜間巡回だけでは足りなくて、ヘルパーがいない時間帯に、体位変換したくなったり、トイレがしたくなったりした時が多くなったので困っています。」と現状を伝えました。H市役所の担当から「一度サマリアに伺いますので、そこでお話しましょう。」と言われました。

7月初め、区役所に提出したセルフプランの内容、交渉の状況、夜間の状況などについて話しました。その後、検討の結果、希望通り支給決定してもらえました。これで、毎日夜間張り付きでヘルパーを使えるようになりました。このことをサマリアスタッフに報告し、「これで1ヶ月ぐらい使ってみて、実績をつくって、区役所に話を持っていこう。」という話になりました。

区役所にも伝えたとこ、**「区として、H市がどう**いう経緯で支給決定したか知りたいので、こちらからH市役所に聞き取りをします。」と言われました。

8月、区役所からH市役所への聞き取りが全て終わったと連絡が入り、詳しい話を聞きに区役所へ行きました。区役所からは、「月の実績など広瀬様の状況を調べて支給決定する必要があると思うが、H市役所は実績を調べていない。広瀬様から聞き取った内容だけで支給決定している。H市がどういう経緯で支給決定したか不明確だったので、前回言っていた時間数での支給決定しかできません。」と言われてしまいました。

区役所との交渉を始めて、進展がないまま7ヶ月が経ってしまい、心身共に疲れ果てていました。いろいろな作戦で交渉するも、効果なし。なかなか

かうまくいかず、途方に暮れていました。



闘いは続く

2015年10月、サマリアスタッフと話す機会がありました。「サマリア側としては、広瀬さんの入居期間を12月末までで区切らせていただきたい。」「今は正念場。何回も区役所に行って、自分の思いを訴え続けていかないといけないよ。サマリア入居期間のこともあるから。」と言われました。僕は12月末までにサマリアを退居し、新居に引越す決断をしました。

僕は、「ここで頑張らないと自立生活は実現できない。退居時期もあるし、最後まで頑張ろう。これがラストチャンスだ。」と思い、あきらめず区役所との交渉を続けることにしました。

障害の進行で体位変換の回数が増え、1時間に1回やらないと体の痛みが出るようになっていました。体の変化を感じたため、主治医の先生に相談したら、「褥瘡ができるといけないから、必要なだけ(1時間に1回)体位変換はしたほうが良い。」とのこと。このことを区役所の担当に伝えたとこ、夜間1時間おきに1時間の介助が入るというプランを提示されたので、さらに足りない理由について説明しました。「このプランでも、ヘルパーがいない時間帯が出てくるので困ります。夏と冬はエアコンを使っています。ベッドで寝ている時は、リモコンを届くところに置いてもらっているが、誤って落としたり届かないところにいってしまうと、リモコン操作で温度調節ができない。スマホも同じで、緊急時に電話できない。また、体位変換したものの、体の位置が悪く、違和感があった。体の位置を調整してもらわないと、体が痛くなる。これらのこともあるので、夜間は張り付きでヘルパーが必要です。」と話しました。

H市役所で時間数を増やしてもらってからは、マイライフスタッフに夜間のヘルパーを調整してもらいました。僕自身もヘルパーを探し、毎日夜間張り付きで入ってもらっています。区役所が提

示する時間数は、H市役所と比べて非常に少ないです。もし、夜間が巡回対応となれば、ヘルパー自身も入り辛くなり、信頼関係が悪化して、やめられる方も出てくる、というヘルパーの実情についても伝えました。

いよいよ審査会へ

2015年11月、区役所から電話がありました。「夜間に入ってもらっているヘルパーさんに、直接こちらから連絡させてもらって、夜間の介助内容などお聞きしたい。それと、広瀬様の生活環境（新居、サマリア）についても知りたいので、訪問させていただきたい。審査会にかけするための資料とさせていただきますので。」とのことでした。

僕は、ヘルパーを2人ピックアップして事情を話し、区役所からの電話で夜間の状況について話してもらいました。

数日後、区役所の担当が新居とサマリアへ訪問に来られました。最初に、新居でリフォームしたところなど、生活のことについて話しました。その後、サマリアでこれから新居に持っていくものについて説明し、移動式リフトでの移乗介助、ベッド上での介助について実際やりながら説明しました。

区役所の担当から、「今回、広瀬様の状況について見させていただきましたので、これを審査会の1つの資料とさせていただきます。あと、夜間について、張り付きにするのか、スポット巡回にするのか、検討していきたいと思います。」と言われました。

12月初旬、区役所から電話があり、「広瀬様が希望された時間数（プラン）で話を進めていこうと考えています。12月のどこかの審査会にかけようと思います。」と言われました。あとは、審査会の結果を待つのみとなりました。

時間数の交渉も話が進んだので、サマリア退居と新居への引っ越しの日を、12月26日に決めました。

ついに決着！

2015年12月18日、区役所に電話しました。はたして、審査会の結果はどうなったのか。どき

どきしながら話を聞きました。

すると、「広瀬様の時間数、希望通り支給決定できました。」と。ついに僕が希望していた時間数が認められました！長かった交渉にやっと決着がつけました。1年弱かけて、最後まであきらめず自分の思いを訴え続け、粘り強く交渉を続けた、その努力が報われたと思いました。正直うれしかったです。

実は、新居が決まってから、引っ越しするまでの約15ヶ月間、サマリアと新居の家賃を二重払いしている苦しい状態でした。月々、サマリアと新居の家賃合わせて約8万円を払い、15ヶ月間で合計約120万円の出費になってしまいました。

引っ越しするにあたり、住宅改造工事、電化製品購入等でもコストがかかるため、二重払い生活はとてもつらかったです。

区役所との交渉に決着が付き、引っ越しが決まった時は、「二重払いの苦しい状態からやっと解放された！」と思いました。

やっと引っ越し

時間数も、無事僕の希望どおり出たので、あとは引っ越しの準備をして、引っ越しだけとなりました。段ボールに荷物を詰めるのはこちらでやって、荷物運びはサマリア、マイライフをはじめ、AJU スタッフに依頼しました。そして、2015年12月26日、引っ越しの荷物運び等を終わらせ、今まで住んでいた、サマリアの部屋も最後きれいに掃除をして、夕方サマリアを退居し、新居へ引っ越ししました。無事引っ越しできて、ほっとしました。

これからは、真の地域生活なので、大変なこともあるかと思いますが、楽しく生活していきたいと思います。



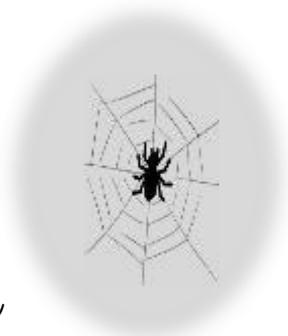
フォビアが来たりて笛を吹く

木村高人

岩手県出身。先天性骨形成不全症のため寝たきり。外出の際はストレッチャー型車椅子を利用する。

東日本大震災での被災を機に、33年3ヶ月暮らした介護施設を出て名古屋へ移住。サマリアハウスで1年ほどお世話になった後、2014年夏に地域のマンション（築40年）で暮らし始めた。

この自己紹介は阪神淡路大震災から21年目の日に書いている。あの日はゲーム仕事の修羅場中だった。朝食のため集まった食堂の席の間近に大型テレビがあり、映し出される惨状に目を疑ったのを思い出す。NHKの宿直室のカメラには、ロッカーが張り子細工のように吹っ飛び、寝ていた当直職員があわててふとんにくるまるところが記録されていた。生死のはざまには、いつもいくぶんかの滑稽さがあるものらしい。



1 おはようホラーハウス

朝起きると、古マンションの部屋がお化け屋敷に変わっていた。

と言っても目立った変化はない。前夜、寝ついた時とほとんどおんなじだ。

ほんのわずかに違うのは、目の前を横切るひと筋の細い糸だ。

蜘蛛の糸である。

寝ている間にせつせと狩りにいそしんだのか、ベッド上の空間を斜めに横切って、右側の柵の向



こうへと掛け渡された蜘蛛糸の橋。顔面上空推定十センチのところにあるその糸を見ただけで、寝ぼけまなこは一瞬で醒め、平

和な部屋はサスペンス空間と化した。

私は蜘蛛が何より嫌いなのだ。

特に糸を引いて下がってくるやつは天敵と言っていい。あんなものが顔の上へでも落ちてきたら心臓が縮み上がってあの世行きだろう。

そんなやつが、目の前に堂々と痕跡を残している。今もこの部屋のどこかにいるに違いない。

どこだ？

どこに隠れてる？

出てこいとは言わない。そのまま姿を見せずに

いてくれば我慢はできる。

だが敵はどうやかなり活発そうだ。おそらくは巣を張らず、歩き回って獲物を探すハエトリグモの仲間だろう。私の目の前を横切る蜘蛛糸は、やつが足場として用いたはずだ。となると当然、行きと帰りがあり得る。足場糸はやつにとって「開発済みの安全ルート」だ。このまま糸を放置すれば、やがてはやつがこのこ戻ってくるかもしれない。

となれば、まずは糸を払いのけるしかない。

が、どうやって？

変形した腕は思うように動かず、目の前十センチの距離にある糸を払いのけるにも自助具（魔法の杖と呼んでいる）を使わなければならない。こういうときに使うのは杖2号か3号だ。が、あいにくどちらもベッド脇の柵に引っかけてある。

そこには、やつが、いるかもしれない。

気分はもうホラー映画の登場人物だ。しかも間抜けな犠牲者役の。ほら、よくあるでしょう。凶悪



なモンスターに立ち向かおうと手に取った武器が、敵の尻尾だった……みたいな展開が。我が身となると笑えませんよ、あれ。

2 怖いものの多い人生

思えば幼い頃から怖いものばかりだった。

サイレンが怖かった。消防車が鳴らす「ウ～ウ～



ウ～」というやつ、あれが聞

こえてくると居ても立って

もいられない気分が襲われ

た。といっても実際には「居

る＝座る」わけでも「立ってる」わけでもなく「寝ている」のだが、だからこそ恐怖は募った。

寝たきりの私が逃げるのは大仕事だ。

何かあったらまず逃げられまい。

だから地震も怖かった。ほんのかすかな揺れでも身がすくんだ。また因果なことに、寝ていると揺れに敏感になる。無感に近い微動でも「地震だ！」とびくびくすることになり、当然ながら臆病者扱いで笑われる。実に理不尽だ。が、まあ、今になってみれば無理もないよなあとは思ふ。

「何かあったらどうやって逃げるの？」

尋ねると、こともなげに母は答える。

「心配ないよ。抱っこして逃げっから」

抱っこ！ なんてことを！

あれほど恐ろしいものがこの世にあるだろうか？

そう、いつの頃からか抱っこは私にとってこの世で一、二を争う「怖いもの」になっていた。ダッコフォビア——抱っこ恐怖症などと呼んで冗談の種にできるようになったのは、おとなになってからのことである。

フォビアの理由は簡単だ。「いだぐする」からだ。

骨の疾患で、ちょっとしたことで体のあちこちを「痛くする＝痛める」のが日常茶飯事だった。岩手訛りの濁音だらけの「いだぐする」という言い方は、その響きの鈍さ呪わしさを含めて、あの頃の重苦しい気分を表現するのにぴったりだ。

くしゃみが怖い。肋骨を折るからだ。

座位が怖い。腰や股関節を「グギッ」とやるか

らだ。

握手やスキンシップが怖い。善意と親しみがあるぶん厄介だ。拒めば悪者になってしまう。

そんな状態の私が「抱っこ」などという全身運動をどれだけ恐れたか、おそらく想像はつくまい。それは世界の破滅を宣言されるに等しいことだった。

なのに母は当然のように「抱っこして逃げる」などと言う。

四面楚歌だ。サイレンが鳴るたび、またかすかな揺れを感じるたびに、どっちみち逃げようのない破滅が私の前にぽっかりと口を開ける。

そんな毎日が延々と続くのだ。

はたちを過ぎて障害が安定し、くしゃみぐらいではびくともしなくなる頃には、多少の度胸もついていた。何かあっても取り乱さず、助けは呼ぶまいと考えるようにもなっていた。

だがあの頃の怖さは今もどこかに残っていて、不意にひょっこりと顔を出す。

3 鶴の鳴く夜

話は変わるが、この「鶴」という字。読めますか？

「又工」と読む。『平家物語』に登場する化け物の名前としても知られるが、私の世代だと角川映画のキャッチコピーとして耳になじんだ。

「鶴の鳴く夜は恐ろしい……」

映画『悪魔が来たりて笛を吹く』のCMに使われたと記憶していたが、今調べてみたら間違いで、正しくは『悪霊島』だそうです。1981年の制作。あの頃テレビでじゃんじゃんCMが流れてましたね。

ここで言う鶴は鳥の名。本名をトラツグミという種類で、別名が又工。

その頃いた岩手の施設では、夜になるとよくこの鳥の鳴き声が聞こえたものだった。かん高かくすれた声で「ヒィー……ヒョオオ……」と絞り出すような鳴きっぷり。

真夜中、眠れずに聞くこの声の寂しさはたとえようがない。



これからどうなるんだろう？

そんなことばかり考えてしまう。

死に場所として選んだ施設だ。山奥の隠れ里のような場所で、このままひっそり終わればいい。そのはずなのに心配の種は尽きることがなかった。

腰を痛めた職員の予後が気になった。

虐待事例を見聞すれば、どうしたらいいのか考えずにはいられず、しかも結論はなかなか出なかった。

利用者間のトラブルは身に迫る危機だった。

福祉制度の転換のたび不安は募った。



しまいには職員同士が声を潜めて語りあう姿を見るだけで動悸がするようになった。また誰か辞めるのか。そう思い込んでし

まうといっきに様々なことが脳裏に押し寄せせる。残った者の負担。鳴り止まないコール。「ちょっと待っててね」のあとの永遠にも思われる無為の時間。けれど引き留めることはできない。どんなに親しく接してくれた頼りになる人でも、いずれはいなくなる。微笑んで見送るしかない。そんなことは小学生の頃からわかっていたはずなのに。

やれやれだ。体が痛まなくなっても、怖いものからは逃れられないらしい。要するに小心者なのだろう。

それでも、それなりに楽しくやってきた。

怖いものは多いが楽しいこともまた多い。ベッドの上でもできることはある。つくづくありがたいことだったと思う。

時を忘れて打ち込むうちに、気づけばいつしか五十の坂を越していた。

そこにゾンビが待ち構えていた。

4 ゾンビとふたり連れ

昨 2015 年初夏、風邪をこじらせて寝込んだ。これをきっかけにダニアレルギー性喘息を併発し、いまだに投薬治療を続けている。

とにかくひどい咳が続き、夜も眠れなかった。

大量の痰が詰まって呼吸ができなくなり、このまま死ぬのかと思うことが何度もあった。骨形成不全の死因が循環器か呼吸器由来だとの知識はあったが、なるほどこういうことかと納得できる経験だった。

病状が悪かった時には咳のひどさで血尿が出た。もともと尿管結石を患っており、これまでも何度か病院の世話になっていた。二度あることは三度ある病気だけに再発は覚悟していたが、どうやら今回は咳による腹圧で成長途上の石が動いたらしい。

患部は把握していた。日頃から体調が悪いと痛むので、石があるのはわかっていたのだ。命に関わるわけではないからと放置していたが、血液検査時に炎症反応を指摘され、痛みも増すばかりなのでやむなく泌尿器科で検査を受けることになった。CT撮影である。

ところが異状はないという。確かに石はあるが、周辺に炎症反応はみられない。寝不足なのか不機嫌そうな医師はそう言った。

なるほど、と私は考える。血液検査からCT撮影までに間が空いたため、炎症が治まったのだな。撮影日の朝の排尿は、それ以前の2日間に比べて明らかに澄んでいたし。

だが、それならば今も続く鋭い痛みはなにゆえか？

「整形外科を受診してみたら？」

医師は言った。

「骨疾患からくる痛みかもしれないよ」

そのとおりだった。

骨形成不全が進行している。腰椎のレントゲン撮影による骨密度測定結果は、健常者の37パーセント。通常60パーセントを下回ると骨粗鬆症と診断されるため、状態はかなり悪い——との診断だった。

覚悟はしていた。この病気は第一次、第二次性徴の時期に骨折リスクが高まるのに加えて、骨粗鬆症も早期に発症する。そのときに備えて準備もしていた。適度な負荷をかけることでカルシウムの喪失を防げることがわかっているので、手足は

意識して使うようにしてきた。その甲斐あってか、四肢のレントゲン像は骨盤のそれに比べて輪郭がくっきりしており、骨密度も多少はマシだろうと思われた。ただそれも漠然たる印象でしか言えないことではあった。医師によれば、四肢の骨による骨密度測定には信頼できるデータの蓄積がないという。

結石の痛みと考えていたものは、骨の痛みだった。尿管付近、おそらくは股関節近辺の骨を、激しい咳による負荷で損傷したのだ。どうりで痛いわけだ。

しかも、これがはじまりなのだ。

怖いものだらけだった幼い頃のように、これからはちょっとしたことで体のあちこちを「いたぐする」ことになるだろう。ゾンビのようによみがえってきた痛みの日々は、もう忘れ去るわけにはいかない。生きている限り、ふたり連れでの旅が続くのだ。

どこかで鶴が鳴いている。「ヒィー……ヒョオオ……」と寂しいその声は、しかし親しい声でもある。それはずっとそばにいて、ひっそり笛を吹いていたのだ。今またそれがはっきりと聞こえるようになった。ただそれだけのことなのだ。

加齢による二次障害は誰にでも訪れる。健常者の場合は老化と呼ばれるだろう。

そしてその先には完全に平等な結末が待っている。

願わくばそのときを取り乱すことなく迎えたいものだが——さて。

皆様、お覚悟のほどはいかがですか。



街へ出かけよう



こんにちは。はじめまして、池田待恵です。

私は日本福祉大学の1年生です。今回は、私が入っているヘルパーサークル CHANGE について紹介させていただきます。まず簡単に紹介しますと、ヘルパーサークル CHANGE は 2008 年 11 月に発足し、現在 20 名程度の人数で活動しています。それでは、もう少し詳しく紹介していきます。

池田待恵 愛知県出身、名古屋市在住。脳性まひ。現在、日本福祉大学在学中。
本誌編集委員になりたてです。よろしくお願いします♪

ヘルパーサークルって何？

ヘルパーサークル CHANGE では「誰もが生きていて良かったと思える社会を目指して」という理念のもとに、自分を変える、学校を変える、社会を変えるということを三本柱にして活動しています。

ここでヘルパーサークルとは何？と疑問を持たれた方もいるのではないのでしょうか。ヘルパーサークルでは障害当事者の生活・人生に寄り添い、ヘルパーサークルとしての独自性を常に模索して、その場限りで終わらない活動を実践します。

またヘルパーと言えば、一人でも活動はできるはず。なぜ、メンバーが集まりヘルパーサークルとして活動しているのか。そこには理由がいくつかあります。それは「一人ではできないことができる」ようになること、「誰もが生きていて良かったと思える社会」を目指して仲間と活動すること、「ピアカウンセリングの場」としての機能があること、「様々な人たちと出会える場」があることなどです。また、私たちは学部を問わず様々な学生が活動しています。それは、十人十色の考え方や感じ方があり、今までの自分にはなかった新しい発見や



気づきを仲間は生んでくれることでしょうか。さらに歴代メンバーの方々が築いてくださった外部団体や人との関係を引き継いで活動を展開しています。そのため、サークルの仲間だけにとどまらず、他大学のサークルや福祉事業所などに出会う機会が多く生まれます。それは、一人一人の成長や理念の実現へ向けて大きな原動力となっています。

活動内容としては週一回のミーティング（予定確認・企画提案）、休日に行われるボランティア活動への参加、合宿・キャンプ・お出かけ企画、大学祭（ポッチャ、模擬店）、ドミノなどがあります。今回はその中でもお出かけ企画について取り上げたいと思います。

お出かけ企画

私たちは毎年夏にお出かけ企画を行っています。その内容について説明したいと思います。お出かけ企画は「障害のある学生が行きたいところへみんなまで助け合って行く」という目的で毎年恒例の企画となっています。

お出かけ企画ができたきっかけは、生まれたときからずっと美浜町に住んでいるある方の「名古屋に行ったことがない」という一言でした。「ヘルパー制度を使って、なかなか外出できない人たちを家から連れ出して外出する」という目的を持ち、近場ではありますが、阿久比のアピタにみんなで行ったことから始まりました。その時のことを、当事者の方に聞いたところ「みんなで昼ご飯を食

べたり、買い物をしたりして楽しかった。」と教えてくれました。実際に外出してみると、交通バリアフリーの問題やサービス提供時間の地域格差など多くの課題を発見しました。このことから、毎年この企画を通じて発見した課題をメンバーで共有し考え、今後のサークル活動にもつなげていきます。

今後どうしていきたいか

私たちは、障害のある学生や地域で暮らす当事者の方々と共に過ごすことに重きを置いて活動してきました。共に過ごすことにより、公的サービスや福祉分野の改善点はもちろん、公共交通機関などの日常生活における当事者のニーズなどをより密接に感じることができるからです。それは福祉を学ぶ私たちにとって、講義や教材からは得ることのできない大切なものです。また、当事者と共に過ごし、共に遊ぶことで当事者が楽しむことはもとより、自分自身も楽しむことを忘れないということを最も重要視してCHANGEは活動してきました。この自分自身も楽しむことを忘れない

ということは、とても大切なことだと思います。楽しくなければ学ぶことに対しても一生懸命になれないし、サークル活動をしたいと思うこともできないと思います。なので、今後も自分自身も楽しむということを大切にして活動していきます。また、私はヘルパーサークルCHANGEに入って1年間を通して、肢体不自由のある人と主に活動をしていて、視覚障害や聴覚障害のある人と活動することが少ないように感じています。様々な障害のある人と活動することで、新たに知ること・気付くことがあると思います。なので、今後は様々な障害のある人と関わって活動していき、学びや考えを深めていきたいと考えています。活動していく中で様々なことに疑問を持ち、疑問を疑問で終わらせずに活動していきたいと思っています。



サルと落花生

堤 剋喜

「サルを見に行きたいのですが、幸島へはどう行けばいいですか？」母が尋ねた。
 「大人なら、ここから歩いて渡れます。潮が引いてくれればね。でもまあ、舟を待った方が、ちょっと前に釣りのお客さんに乗せて出て行ったから、こっちにお客がいることが分かれば、そのうちに戻ってきます。顔が見える位置に舟が来たら、合図してみます。」ご親切な応対。(これが今だったら、「携帯電話で連絡してみます」となるのだろう。)
 この舟は、渡し船というよりも、釣り船としての営業が主。
 だから、いつ来るかは、時計の時刻ではなくて、客の有無と釣果で決まるらしい。
 「島のサルはお行儀がいいから安心してください。」
 雑貨店で落花生を2袋買う。殻付き。サルたちへの手土産に。
 『島が見えるところでわざわざ売っている、ってことは、サルと落花生が、(奈良公園の)シカと鹿せんべい、みたいなものなのかな。落花生、ねえ。僕はあまり好きじゃないのだけれど。』
 そんなことを思いながら、最後の給水地点で缶ジュースを1本飲みきる。確か白桃だった。退屈し出す前に、舟へ乗せてもらえた。釣り場を変えるついでに回り道してくれた感じ。「この箱の上に座るといい。今日釣れたウツボが入ってる。まだ生きてるぞ。」
 生きてウツボの上と聞いてひるむが、「頑丈な箱だから、怖がらなくていい。」
 ご厚意に従う。舟が岸から離れる。エンジンの音や震動は覚えていない。
 手漕ぎだったかもしれない



目の前を影が走った。あまり友好的でない触感が左の頬に残るが、痛みはもうない。
 2つもっていた落花生の袋が、1つしかないのに気づく。『今の何?!』
 状況を、「当事者」の僕だけが分かっていなかった。
 「もう行っちゃったからね。あれは離れザル。群れにまだ入れてもらえない若い雄でね。普段ろくに餌をもらえない。舟にごちそうがあるのを見つけて飛んできたんだよ。驚いたろう。でも、サルも必死だ。悪く思わないでやって。あいつ今頃喜んでよ。久しぶりにおなかいっぱい食べられる。これ全部俺のものだ! ってね。」

島の砂浜に降りる。管理人が待っていた。残りの落花生の袋を渡すと、けだるそうに受け取り、群れのサルたちに1つずつ、1匹ごとに顔を確かめながら分配していった。本日のメインディッシュは終わっていておなかやすいていなかったのか、管理人の権威と注意深さの故か、取り合いにはならなかった。
 サルが順番待ちをするような風景。
 「島のサルはお行儀がいいから安心して」は群の中にいるサルたちに関しては当たっているようにも見える。一見、管理人らしい人物が、無愛想だったのも、彼の本職が「野生ザルの研究者」で、観光協会の職員でも、動物園(博物館と同様、市民のための教育施設でもある)のガイドでもないことを思えば、ある程度納得できる。観察対象に、余計な刺激を与えないためだろう。

同じ舟で帰る。島の丘の上に1匹のサルがいた。
 何かを抱えながら、中身をほおぼっている。
 「ほら。さっきの離れザルだよ。開封に成功してもう宴会をやっている。」
 一期一会。舟で会った人たちからは可愛がってもらったし(観光地の流儀であるにせよ)、サルもサルなりのやり方で「歓迎」してくれた。確かめようがないけれども、もし、今どこかにあの離れザルの子孫が暮らしていたら、僕としては、うれしい。

待てよ。僕が行ったとき、幸島には森はなかった。きつと昔はあったと思うが。
 サルの天然の餌は草の実と切羽詰まったときの海藻くらいしかない。餌付けがなかったら、足りまい。対岸の森の方が食糧事情はよい。研究、教育、観光、あるいは動物愛護等と、目的は色々だけれども、人間の都合で餌付けされ、本来住みづらい小さな島に定住。ひょっとしたら隔離されてサルたちが、不足分の食料を外来の農産物で補って暮らす。
 森の中なら、サルが1粒のドングリのために仲間と争うことはない。争う必要がない。
 ドングリは散らばっている。動かないし、逃げない。時間制限も緩いから、争うよりも、自分で別のを探す方が得策。
 ところが、一粒でなく袋丸ごと、ドングリでなくて、サツマイモやバナナ、それも今度いつ現れるか分からないとなると、事情が変わる。
 多少の危険をいわず、奪ってでも独占を狙う・・・
 食べ物が変われば、サルだって、腹の虫の組み合わせや居所がちがってくるだろう。
 なんとなく身につまされる。僕は手土産でなく、争いの種を持ち込んだことになる。
 幸島で会ったのは野生のサルならぬ、「天然記念物の野良ザル」だったのでは？

この拙文を考えながら、年賀状の準備。ワオキツネザルなら描けるかと、思考実験。
 NG! 僕が描くと、猫かアライグマか、どっちつかずで正体不明の生き物になりそうだ。
 練習している余裕はない。もたもたしていると、年が明けてしまう。
 結局、いや、まあ半ば予定通りだった気もするが、ボール遊びをしている人間の子ども、そんな図柄にした。人もサル的一种。少なくとも、生物学者や獣医からは咎められまい。ともあれ、できるだけ森のニホンザルをまねた方が平穏な日を送れそうに思う。
 サルの場合、子が自活してから次の子を産む。ということは、親の愛情や保護、食べ物で兄弟げんかは起きようがない。
 言葉のやりとりが祝福と建設的な力につながればいいのに、知らぬ間に、大小さまざまな争いをあおる道具にも化けてしまう。

さるのみなさんへ。あんまり人のまねはしないでください。

旅の空から

皆さん、こんにちは。いつも旅行情報を掲載していただいている(株)チックトラベルセンターの松本です。そろそろ花粉が舞う季節ですね。読者の皆様にも花粉症でお困りの方も多いと思います。知り合いの人が「60歳を超えたあたりで花粉症がぴたっと治った」ということも聞きました。うらやましいですね。



オーストラリアのメルボルンで開催されていたテニス大会では錦織選手が残念ながらジョコビッチ選手に敗れてしまいました。オーストラリアは日本との時差があまり無い国なのでテレビ中継で試合を観戦なさった方も多いかもかもしれませんね。今回はオーストラリアのシドニーについての情報です。

シドニーの風景



シドニーはオーストラリアで一番大きな都市です。ここが首都とっいていらっしゃる方もあるようですが、

首都はキャンベラです。シドニーはオペラハウスやハーバークリッジがありますので、写真でご覧になられた方はおわかりだと思います。オペラハウスは、貝殻を組み合わせたような外観が海に映える建物で、シドニーの代表的な風景となっています。4年で完成するはずが14年もかかってしまい、かなり予算オーバーになり、設計者は残念ながら途中で辞任し、その完成を自身の目で見ることはありませんでした。今では世界遺産となってシドニー市民ばかりでなく観光客にも愛される観光地となっています。写真では白い屋根が目立っていますが、実際に近くで見ると黄色っぽい特注のタイルで、雨や風で汚れが落ちてしまうというスウェーデン製のタイルです。そしてオペラハウスのほかにすぐ目に飛び込んでくるのが、シドニー湾にかかるハーバークリッジです。この橋は車

道が8車線、線路が2本、歩道まで整備されていて1932年に完成したアーチ橋です。こんな時代に将来を見越した橋を完成させていたシドニーはすごいですね。

夜になるとライトアップしてうっとりするような風景が楽しめます。この橋は歩いてアーチの上まで行けるツアーがあります。アクセスは階段だけとなりますので、残念ながら車いすご利用の方は参加できませんが、ご年配の方もチャレンジなさっています。アーチの頂上で手を振っている人の姿が確認できますので、お出かけになられたらよく観察してください。シドニー湾ではハーバークルーズが多く運行されていますので、その日にチケットを購入して乗船できます。サーキュラー・キーという場所がクルーズや客船が出発するところです。車いす用のトイレは案内所の横にあるトイレのみとなりますので、ご注意下さい。1時間ほどのハーバークルーズ(A\$24~)やランチクルーズ(A\$57~)などがありますので、滞在中の時間と予算に合わせて選ぶことが可能です。海から見る世界三大美港シドニーの街やオペラハウスは印象深いものになるでしょう。

シドニー郊外の世界遺産

シドニーの西約50kmのところに位置するブルーマウンテンズ国立公園です。アクセスは電車と車があり





ますが、1日観光で行くならば車を利用したほうが便利です。シドニーから1日観光でツアーが出ています

が、残念ながらリフト付きのバスはないので、車いすご利用の方は専用のリフト車を利用されたほうが便利です。

ここはロープウェイがありますし基本的に段差がない歩道も整備されていますので車いすをご利用の方も楽しめます。

急勾配のケーブルカーがありますが、こちらだけは階段でのアクセスとなる為、車いすご利用の方はお乗りいただけません。巨木の森林、滝やスリー・シスターズと呼ばれる3つの奇岩の風景が楽しめます。ビジターセンターには身障者用トイレ



やレストラン、お土産ショップがあり、ここからロープウェイやケーブルカーに乗ります。ケーブルカーは下りに乗ると

ジェットコースターのようなスリルが味わえます。あまりの急勾配なので座席も角度をつけてあります。現地の日本人ツアーガイドが「さあ皆さん、両手を上げて〜！」と団体ツアーの人を盛り上げていました。スリー・シスターズはその姿が間近に見られる展望台が車で少し走ったところにもあります。こちらもビジターセンターの設備がとても良いので安心してお楽しみいただけます。

フェザーデール自然動物園

動物好きの人にお勧めしたいのは、シドニー市内のタロンガ動物園ではなく、フェザーデール自然動物園です。こちら車でのアクセスとなりますが、ブルーマウンテンズの観光と兼ねてお出か

けなさることをお勧めします。園内は昨年に改装されて車いすでもアクセスしやすくなりました。

残念ながらコアラの抱っこはニューサウスウェールズ州では禁止されていますが、すぐ横で写真撮影が可能です。ユーカリ



の葉っぱをムシャムシャ食べている音が聞こえます。それほど混雑をしていないのでゆっくり楽しめます。時々地元の小学生が社会見学で来ていますので賑やかです。園内にはオーストラリア固有の動物たちがいます。カンガルーの小さいタイプのワラビーに餌を与えて頭をナデナデする体験は楽しいですよ。時々お腹に赤ちゃんを入れたワラビーもいますのでよく観察してみると袋から顔を出していることが

あります。のんびり屋のウォンバットも穴から顔を出して寝ている微笑ましい姿がありま



した。動物を触れ合っていると時間を忘れてしまいそうです。園内にはワニのコーナーもありますが、さすがに餌を与える体験はありませんでした。タロンガ動物園よりこちらのほうが数倍楽しく感じます。売店にいろんな種類の動物のぬいぐるみが販売されていました。ウォンバットが可愛いので購入しましたが、買うときはオーストラリアンメイドと表示されたものを選びましょう。毛並みも顔もとても良いものが手に入ります。

シドニータワー

シドニーの中心部は超高層ビルが建ち並んで大都会になりました。ひときわ目立つシドニータワーはぜひ展望台に上って街を一望してみてください。日～金曜は夜 22:30、土曜は 23:00 までなので恋人と夜景を見たい人にもお勧めです。

タワーはウェストフィールドというショッピング

グセンターの中にありますので、エレベーターやエスカレーターで5階へ行き、入場券売り場でチケットを購入します。地上からのエレベーターは1箇所なので歩いている人に聞いてみるか、観光客が入っていくときに後ろをついていく方法があります。ほとんどの観光客がエレベーターを使うようです。チケット購入後は4Dの映画を楽しん



でから高速エレベーターで展望台へ上がります。360度の大パノラマですからお勧めです。ハイドパークの全景も見渡せるので、ほとんどの人が「タワーを下りたらあの公園へ行きます。」と言われるほどです。

ホテル選び

オーストラリアは思ったより物価が高いところですので。シドニーは世界中から観光客が集まる都市ですから、ホテルは超高級からドミトリーまでいろいろです。街中を徒歩や車いすで観光したい方は中心部の便利な場所にあるホテルを選びましょう。車いす用のお部屋は、バスタブがなくシャワーだけの設備という部屋が多いため、事前に確認をしたほうが良いでしょう。ある程度のホテルなら従業員も教育されていますし困ったことがあったら親身に相談にのってくれるでしょう。良いサービスを期待なさるなら名前の知られたホテルを選ぶこと。値段だけで選んだら6人用相部屋だったなんてことにならないようにご注意ください。

現在のシドニー

昨年私がシドニーへ出かけたときに教えてもらったことがあります。現在シドニーでは街中に市電を通すため大工事をしています。道路を通行止めにして工事をするため場所によっては車が大渋滞しています。

電車や公共船を使って移動なさる人には、それほど影響はありませんが、車を使う人、団体旅行で観光バスがホテルへお迎えに来る団体様には大渋滞のため予定が遅れることが多いようです。この工事はあと3～4年続くということです。日本の旅行会社のパンフレットにはそのようなことが一切書かれていませんが、どの旅行会社のツアーも困り果てているようです。個人旅行の場合はほとんど影響ありませんが、空港へ車で行く場合は少し早めに出発なさることをお勧めします。

飛行機

成田空港や羽田空港からはシドニーへの直行便が就航していますが、他の都市からは乗換が必要です。格安航空会社のジェットスターもシドニーへは直行便がありません。名古屋や大阪などからは香港や台北、シンガポール、バンコク、クアラルンプール、ソウルなどを経由して1回乗換で到着できます。ほとんどの航空会社が燃油サーチャージを値下げや廃止していますので長距離飛行の海外旅行のチャンスかもしれませんね。

観光庁長官登録旅行業第735号
(株)チックトラベルセンター

ハートTOハート事業部

松本 泰守(まつもと やすもり)

ハートTOハートを担当して20年目

〒460-0003

名古屋市中区錦1-20-19 名神ビル6F

TEL (052) 222-7611

FAX (052) 212-2778

matsu@tictravel.co.jp

チケットラベル ハートTOハート

リフト付き観光バスで行く、日帰りバスツアー

元善光寺とおやしき作り体験をどうぞ。おやしきは長野県のソウルフードとして有名です。焼きあがったらお土産として持ち帰りもできます。昼食も含まれていて安心です。

旅行日：4月2日(土)
料 金：ひとり 8,800円
ポイント：楽しいバスガイドさんが同乗しています。電動車椅子で車椅子のまま固定も可能です。お早めにお申込み下さい。

バリアフリールーム利用の お徳な北海道3日間

札幌駅近くのホテルでバリアフリールームをご利用可能です。電車や地下鉄の利用もとても便利です。

旅行日：5月9日(金)～22日(日)
どの出発日も
料 金：ひとり 65,800円(2名1室)
ポイント：出発日はご都合に合わせて選べます。どの出発日でも同じ料金で出発可能です。
※個人やグループ旅行に最適なプランです。

グランドサークルとラスベガス7日間

自然が長い時間で創りあげたグランドキャニオンをはじめ、国立公園を巡るツアーです。最後はネオンがきらびやかなラスベガスで滞在します。

旅行日：10月6日(木)～12日(水)
料 金：ひとり 460,000円(2名1室)
ポイント：全行程リフト付き大型バス利用です。電動車椅子でのご参加も可能。お食事と観光を含めた安心プランで添乗員も同行いたします。

<いつでも出発可能！個人旅行やグループ旅行>

個人やグループでお出かけいただける手配旅行です。2名様から手配可能ですので思い立ったらすぐにご相談下さい。担当の松本はお近くまでお邪魔することも可能です。

☆リフト付き専用車で観光するバンコク旅行☆

タイ・バンコクやアユタヤなど有名観光地をリフト付きの専用車でご案内する個人プランです。ホテルはもちろんバリアフリールームをご用意。サンデーマーケットで掘り出し物のお土産を格安で手に入れるのも楽しいでしょう。

☆石垣島でのんびり☆

石垣島への直行便を利用してリゾートホテルでのんびり滞在するプランです。観光をご希望なら福祉タクシーの手配も可能です。牛車の荷台でのんびりと観光する体験も可能です。

☆三島でボランティアガイドと歩く一日☆

新幹線で三島駅へ。現地のボランティアガイドが街歩きにご案内します。お泊りは熱海や伊豆にてご用意いたします。富士山を眺めながらゆっくり宿泊旅行はいかがでしょう？

■申し込み・問い合わせ■

観光庁長官登録旅行業第735号 日本旅行業協会正会員
(株)チケットラベルセンター ハートTOハート
〒460-0003 名古屋市中区錦1-20-19 名神ビル6F
TEL:052-222-7611 FAX:052-212-2778
【月～金 09:30-18:30 土日祝休】
<http://www.tictravel.co.jp>
〔担当〕松本：matsu@tictravel.co.jp

あいち旅サポートセンター



こんにちは。
旅サポートセンターです。
雪も降り、冷たい風が吹き荒れ、
いよいよ本格的な冬を肌身にしみ
て感じるようになってきたように
思います。寒さの中にも寒暖差はあ
り空気の乾燥なども感じられるか
もしれませんが、心身ともに体調にはお気をつけて
お過ごしてください。

今回は草津温泉の「湯畑」について少しご紹介し
たいと思います。訪れた日には雪が舞っていました。

湯畑に着くと硫黄の匂いが出迎えてくれます。

湯畑周辺は舗装されており平坦で車いすの方でも一
人で回ることができます。ただ、湯滝の下へ行くには
坂が急なため、車いすの方ひとりでの下りるのは危なく、
介助者さんをお願いすることをお勧めします。道に面
しているお店の入口もスロープ状になっていたり段
差が少なく、そのまま入れるようになっていました。

「熱の湯」では湯もみ見学、体験ができます。入
口がフラットで車いすのまま入れます。貸出車いす
も有り。他にも足湯や、お湯に触れる場所、周辺の
マンホールの柄など他にも意外な発見があるかもし
れませんよ。

余談：私には、硫黄の匂いがかかなり強烈でした。臭
い等に敏感な方は体調を崩さないよう気を付
けてください。



旅サポーターと一緒に出かけましょう!

<モデルプランの特徴>

- ◎ヘルパー資格を持った旅サポーターが同行します。
- ◎車いすでご参加いただけます。
- ◎1名様から催行!
- *使用車種により1台に2~9名様の乗車が可能です。
- ◎介護タクシー又は公共交通機関を利用します。
- ◎バリアフリーに配慮した行程でご案内いたします。
- ◎期間中、都合の良い出発日を選んでいただけます。
- お時間はご希望に合わせて調整します。
- ◎ご家族、ご夫婦など、介助の必要のない同伴者様
も追加料金にてご参加いただけます。
- ◎ご自宅や最寄り駅へのお迎えも可能です。
(別途交通費が必要な場合もあります)
- ◎2、3コースは休憩タイム(飲物付)を設けています。
- ◎旅行代金は大人お一人様の金額です。

モデルコース1

◇京都のお花見&ご参拝◇

名古屋ご自宅 — 下鴨神社 — 北野天満宮 —
8:00 発 (休憩) (昼食)
— 伏見稻荷 — ご自宅
(休憩) 18:30 頃着

<利用交通機関> 介護タクシー
(1~8名様の乗車が可能です)

<出発日> 3月中旬~4月中旬のご希望日
<旅行代金> 47,440円(4名様ご参加の場合)
<旅行代金に含まれるもの> 行程中の交通費、入場料、
旅サポーター1名同行費用。(昼食は含みません)
<同伴者追加代金> 3,000円(ご同伴1名様につき)

モデルコース2

◇大阪城の春を感じよう◇

名古屋駅 — 新大阪駅 — 通天閣 — 大阪城公園
9:00 発 (JR)
— グランド花月 — 新大阪駅 — 名古屋駅
(花見散策&昼食) (JR) 19:40 頃着

<利用交通機関> JR(新幹線)、介護タクシー
(1~8名様の乗車が可能です)

<出発日> 3月中旬~4月中旬のご希望日
<旅行予算> 57,340円(4名様ご参加の場合)
<旅行代金に含まれるもの> 旅サポーター1名同行費用、
行程中の交通費、入場料。(昼食は含みません)
<同伴者追加代金> 16,200円(ご同伴1名様につき)
*入場施設の休館日により行程が変わる場合があります。

モデルコース3

◇日帰り東京隅田川散策◇

名古屋駅 — 東京駅 — 浅草 — 隅田川ライン ~ ~
8:00 発 (JR) (地下鉄) (乗船)
~ お台場 — 銀座等散策 — 東京駅 — 名古屋駅
(地下鉄) (JR) 22:00 頃着

<利用交通機関> JR(新幹線)、地下鉄
<出発日> 6/30までの毎日
<旅行予算> 79,800円から(1名様参加の場合)
<旅行代金に含まれるもの> 行程中の交通費、乗船料、
旅サポーター1名同行費用。(昼食は含みません)
<同伴者追加代金> 28,600円(ご同伴1名様につき)
*詳しくはお問合せください。

あいち旅サポートセンター
TEL (052)582-2164
e-mail: tabisupport@mwt.co.jp
(受付時間: 9:00~18:00 土・日・祝日は休業)

〒450-8577 名古屋市中村区名駅南2-14-19
住友生命名古屋ビル3F

名鉄観光サービス株式会社
観光庁長官登録旅行業第55号 日本旅行業協会正会員

福祉用具のリサイクル情報 (16/2/3 現在)

欲しいもの、不要なものはありませんか？

リサイクルの輪を広げよう！

なごや福祉用具プラザで、福祉用具のリサイクル品の
コーディネートと福祉用具の販売、自立生活情報の提供などを行っています。

譲りますよ！ *金額のないものは無料です。

★ベッド、床周り品

- ・オーバーテーブル
(KQ623用 パラマウントベッド) 14年使用

★移動用品

- ・段差解消機 (スマートリフト S120 ハナオカ)
¥要相談 3年使用
- ・床走行電動昇降いす
(コロロ コムラ製作所) 不明

★入浴用品

- ・バスリフト (TOTO) ¥要相談 3年使用

★トイレ用品

- ・ポータブルトイレ【木製】
(不明) 1年使用
(座楽アウボット脱臭、長穴便座 パナソニック)
2週間使用
- ・ポータブルトイレ【プラスチック製】
(安寿 FX-CP ソフト便座 アロン化成) 数回使用

★その他

- ・足浴器 (冷えとり君ニュースーパーマイコン)
¥要相談 4年使用
- ・スライディングボード
(イージーグライトL パラマウント) 不明

★洗浄消毒、点検整備済中古車いす★

- ・自走式車いす
(Skit4 ミキ) ¥69,800
(LS-2 ミキ) ¥49,800
(ミニモちゃん 松永) ¥49,800
(プチカル ミキ) ¥39,800

※なお、中古商品の販売も行なっておりますので、
ご要望等ございましたら、お問い合わせ下さい。

譲って欲しい！

★ベッド、床周り品

- ・1、2、3 各モーターベッド、幅の広いベッド
- ・各マット (体位分散、エア、ロホ)
- ・サイドテーブル

★移動用品

- ・各車いす
(手動、簡易電動、介助用、リクライニング)
- ・子供用車いす、バギー、PCW
- ・歩行器 (馬蹄型)、歩行車
- ・シルバーカー、四点杖
- ・マイリフティ ・つるべ床走行式リフト
- ・JW1 か JW2 のバッテリー
- ・段差解消機 (屋外用)

★入浴用品

- ・入浴用車いす (安楽キャリーBタイプ)
- ・入浴用チェア ・バスボード

★その他

- ・スロープ (折りたたみ) 900cm、2M、2.5M、3M
- ・座位保持用クッション ・ロホクッション
- ・車いす用座位保持ベルト ・車用つり革
- ・置き型手すり ・昇降座いす ・紙おむつ

「譲って」欲しい方、「譲りたい！」という方、
ぜひご連絡下さい。

＜福祉用具についての問い合わせ＞

なごや福祉用具普及協議会代表事業者

(株)メディケア リサイクル相談事業部

TEL 052-851-0059 FAX 052-851-0159

いろいろ情報

ひかり鍼灸院 東洋医学体験談



ひかり鍼灸院のマッサージを受けられた方から、体験談をいただきました。ひかり鍼灸院さん(最後のページに広告掲載)は、健康保険が使える訪問マッサージ・リハビリです。お困りの方は、お気軽にお電話を!

・施術目標

関節可動域の維持、拡大(肩、肘、手指股、膝、足関節)、褥瘡の予防

・施術内容

全身マッサージ、右半身中心に関節可動域維持拡大訓練、体位変換

・施術効果

右半身の各関節の拘縮は以前に比べて改善され、可動域は拡大されました。
褥瘡は予防されています。

○施術者からの連絡事項

麻痺のない左下肢も屈曲していることが多く力が入っているため、拘縮の予防に留意が必要と思われます。

当院を利用される方は、病名に関わらず歩行困難の方や寝たきりの方が対象です。

体験クーポン

無料券
マッサージ
または鍼灸
20~25分

1回体験(マッサージまたは鍼灸 20~25分)中です。こちらの「体験クーポン無料券」を、マッサージの担当者へ渡して下さい。

緑区 ひかり鍼灸院

検索

意思伝達

「miyasuku EyeConLT」の紹介

はあ~い、でっちゃんです。40半ばから、障害も体重も重たくなってきて、最近は手が開かなくて、キーボードで入力するのも大変になってきたんだわ。そこで、視線入力による意思伝達システムのデモに参加してみました。

次の方法で視線を認識させます。

1. ディスプレイに向かって、10秒間、じーっとにらめっこします。
2. 次に、上下左右の光をおかけます。
ところが、でっちゃんは1で脱落。なんでかというところ10秒間も目を開けとれんし、不随意運動で頭が

動いてまうからです。あ~あ!がっかりだがね~。参加者の中には脳性まひの人もいて、うまくいった人もいます。仕事には向いてないと思うけど、家でコミュニケーションツールとして使ったり、インターネットで情報収集などはできますよ。



視線を動かすことによってマウスが移動し、一定時間「注視」することによってマウスをクリックします。

また、マウス左クリックモード中は、デスクトップおよび起動中アプリが拡大表示されます。なお、視線検出・クリック反応時間・拡大機能等については、個人に合わせて詳細に設定することができます。
動作確認: OS:Windows7/8 メモリ:2GB以上

ハードディスク容量:100GBが必要

価格:1,000円(税込)

問合せ先:株式会社ユニコーン(開発元)

MAIL: info@miyasuku.com

TEL: 082-850-1020

miyasuku 意思伝達システム

検索

春のパレード、シンポジウムなど

【原発のない未来へ 3/26 全国大集会】

福島原発事故から5年を向かえようとするなか、原発事故の影響は複雑化し、多くの被災者に苦悩と困難をもたらしている。フクシマの現実の声を聞き、何ができるのか、共に考える集会です。

開催場所:代々木公園(サッカー場、野外ステージ、ケヤキ並木)、渋谷区代々木神園町、神南二丁目

開催日:3月26日(土曜日)

スケジュール(予定):

- 11:00~ブースなどの開店時間
- 11:30~オープニングライブなど
- 12:30~メインステージライブ・集会
- 14:40~3コースに分かれてデモ

交通アクセス（電車）：

- ・JR「原宿」下車 徒歩 3分
- ・東京メトロ千代田線「代々木公園」(C02)下車徒歩3分
- ・東京メトロ千代田線・副都心線「明治神宮前(原宿)」(C03、F15)下車徒歩3分
- ・小田急線「代々木八幡」下車 徒歩6分

問合せ先：

さよなら原発 1000万人アクション実行委員会
 TEL:03-5289-8224
 原発をなくす全国連絡会 TEL:03-5842-5611
 首都圏反原発連合 携帯:080-9195-2688
 反原発運動全国連絡会 TEL:03-3357-3810

原発のない日本 3・26

検索

【障害者差別解消法施行パレード】

2016年4月1日は、国の障害者差別解消法と、愛知県の愛知県障害者差別解消推進条例が同時にスタートする記念すべき日です。

施行直前の3月27日、障害を理由とする差別が社会から無くなるよう、「障害者差別解消法」と「愛知県障害者差別解消推進条例」を広く一般市民に知ってもらうことを目的に、名古屋の中心地・栄で楽しくパレードを行います！！

開催場所：名古屋市・栄

開催日：3月27日（日曜日）13:30～16:00

参加費：無料

問合せ先：愛知障害フォーラム（ADF）

TEL:052-841-6677
 FAX:052-841-6622
 MAIL:adf.jimu2008@gmail.com

障害者差別解消法施行パレード

検索

【シンポジウム「原発災害と障害者」】

福島の障害者・支援者を中心に8名のメンバーが中心となり、2014～2015年にかけて、鹿児島、鳥取、島根、青森、福井の5か所で障害者防災出前講座が開かれました。シンポジウムでは、出前講座で行われたグループワークの報告と、今福島に住んでいる人たちから福島の現状について語られます。

開催場所：大阪市立市民交流センターひがしよどかわ

開催日：3月27日（日曜日）10時～12時

パネラー：6名

交通アクセス（電車）：新大阪駅からすぐ

主催：障害者防災出前講座委員会

問合せ先：認定NPO法人 ゆめ風基金

TEL:06-6324-7704
 FAX:06-6321-5566
 MAIL:yumekaze@nifty.com

原発災害と障害者 大阪

検索

**名古屋ビルディング
オープン**

最近、名古屋駅周辺はビルの建替えラッシュが続いています。その第1弾として名古屋ビルディングが、このたび3月9日に晴れてオープンします。

「名古屋ビルディング」内の商業施設は、B1F～5Fおよび地下街の商業ゾーン『Shops&Restaurants』と、7F～16Fにまたがるショールーム、クリニックモールを含む集客ゾーン『Lifestyle & Services』に大きく分けられます。グルメ店もいっぱいあるので、機会があればレポートします！



階数：地上34階 塔屋1階 地下4階

交通アクセス（電車）：

- ・JR名古屋駅より徒歩3分
- ・名鉄名古屋駅より徒歩5分
- ・近鉄名古屋駅より徒歩8分
- ・地下鉄東山線名古屋駅より徒歩5分
- ・地下鉄桜通線名古屋駅より徒歩1分
- ・あおなみ線名古屋駅より徒歩10分

名古屋ビルディング

検索

購読に関する手続きについて

いつも福祉情報誌をご愛読いただき、ありがとうございます。

今号（140号）を発送の際、全ての方に振込用紙を同封させていただきました。これは、ご購入のご継続をお願いするものです。ご購入状況は、送付しました封筒の宛名ラベルにある、「購読料支払い済み年度」をご確認下さい。また、振込用紙には、住所、氏名等、必要事項を必ずご記入下さい。なお、「AJU福祉情報誌オンラインショップ」もございます。（詳しくは最終ページ参照）

すでにご納入いただいている方には、大変申し訳ありませんが、ご了承下さい。

これからも情報誌発行委員会一同、皆さまのご期待にこたえられるよう努力してまいりますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

福祉情報誌オンラインショップ

検索

※年間購読でダウンロード版をご希望の方は、編集部までご連絡ください。



訪問マッサージ・リハビリ

自宅療養・歩行困難の方が対象です。寝たきりゼロのためにご利用下さい。

健康保険が使用できません
(医師の同意が必要)



(株)東洋医療グループ

ひかり鍼灸院

緑区鳴海町字大清水 69-1029

☎ 0120-56-0348

http://www.hikarisinkyuin.com

お気軽にご相談下さい。担当/牧野

そらいろ工房

一級建築士事務所

“バリアフリー住宅”にこだわる設計事務所です。
車いす利用者の方のより良い住まいを一緒に考えます。

受賞歴

わが家のリフォームコンクール最優秀賞
あたたかな住空間デザインコンペ最優秀賞
ハウスアダプテーションコンクール佳作
愛知まちなみ建築賞

おご
気相
軽談
には
ど無
う料
ぞで
す。



〒466-0012

名古屋市昭和区小桜町3-11

TEL: 052-741-2907

FAX: 052-741-2760

そらいろ工房 井上義英

車いすに乗ったまま「行きたい!」をかなえる



介護タクシー とろろ

でんわ 090-9184-5515

名古屋市千種区新池町2-22-8

tel/fax 052-782-3172

編集後記

もうすぐ春ですね。今年の冬は、寒〜い日もありましたが、全体としては暖かかったように思います。

さて、国の「障害者差別解消法」が4月1日に施行され、それに伴い地方自治体条例も施行される所もあります。

その第1弾として、本号では「愛知県障害者差別解消推進条例」について、条例づくりにかかわった人が解説しています。

「こんなことがあった」、「あんなことがあった」とかいう事例や、「こういうときはどうすれば良いか?」などの質問、あるいは他の自治体の取り組みなどありましたらお寄せください。

今後とも、このテーマに関する記事を載せていこうと思っています。

(ナベ)



医療相談室

長年、診療機関で障害がある仲間の医療ケアに携わってみたい、リハビリテーション医の万歳登茂子先生のご協力で開設。

《相談日》3月12日、26日

4月9日、23日

いずれも土曜日、予約制、30分程度
時間は要相談

《対象》障害がある人

《費用》無料

《受付》自立生活情報センター

TEL 052-841-6677

FAX 052-841-6622

E-mail johoc@aju-cil.com

《場所》名古屋市昭和区恵方町2-15

(社福)AJU自立の家 サマリアハウス内相談室



やさしい住まいの支援ネット

障害当事者、福祉、医療、建築関係者が有志で開設し、住宅の改造などの相談に対応。

《相談日》3月5日、19日

4月2日、16日(要予約)

いずれも土曜日、午後1時半から

事前にご連絡下さい

《費用》無料

《受付》サマリアハウス 浅井

TEL 052-841-5554

FAX 052-841-2221

E-mail sumai-sien@freeml.com

URL http://sumai-sien.com

《場所》名古屋市昭和区恵方町2-15

(社福)AJU自立の家

サマリアハウス内



福祉情報誌オンラインショップ

AJU福祉情報誌オンラインショップを開設しました。あなたの家まで年間購読や最新各号のバックナンバーを郵送するだけでなく、インターネットからダウンロード販売も行えるようになりました。

お支払方法は次の3つです。

- ① 銀行振込(ゆうちょ銀行)
- ② 郵便振替
- ③ カード決済(Paypal)

問い合わせ先:

AJU福祉情報誌発行委員会(担当:水谷)

TEL:052-841-9888

FAX:052-841-3788

福祉情報誌オンラインショップ

※年間購読でダウンロード版をご希望の方は、編集部までご連絡ください。

E-mail:f-joho@aju-cil.com



情報募集中!

障害福祉制度への意見、町で見つけたアクセシブルな穴場、あれ?ちょっとおかしいな?と思う車いすトイレの造り、親切なお店、グルメなお店、みんなに聞いて欲しい事件などなど、皆さんからの情報をお待ちしています。

ぜひぜひ、編集部までご連絡下さい



■編集部

TEL 052-841-9888

FAX 052-841-3788

E-mail f-joho@aju-cil.com

お待ちしております

隔月発行

振込先(郵便局にて振込)

加入者名:福祉情報誌発行委員会

口座番号:00890-0-90573

お問い合わせ・購読中止のご連絡は、こちらまで

TEL:052-841-9888

FAX:052-841-3788

E-mail:f-joho@aju-cil.com